

のであります。此の間思ひ出或いは仕事上様々な感慨も次から次へと湧き出て参ります。特に室蘭保線区長時代、道南一帯をおそった集中豪雨（500ミリ）の時の状況が思い出されます（詳細に説明ありたるも割愛させていただきます）。

退職致しまして約1年になりますが、どんなに熟睡の夜中でも、電話のベルの音に聞かされずはね起きる習慣がぬけません。もう鉄道ではないんだと改めて云い聞かせますが神経はなかなか休みません。

次に私の今日の仕事について申し上げます。鉄道退職後札幌工業の取締役函館支店長として業界の一小経営の責任を負って居りますが、何んと云っても一年足らずの業者生活でありまして皆様の前で語る資格はないと考えて居ります。目下の建設業界は国内経済成長の恩恵を受け、無数の建設業が濫立して競争して居りますが、これからが最もむづかしい時期と思ひます。此の時にあたりまして、私も馳け足で第二の人生を初心にかえて勉強し、社員、株主の為全力投球する事は経営者として当然であります。何と云っても社会の基礎として与えられた仕事を此の世代の所産と致しまして、後世に立派な財産として残すことが私の最大の責任であると思ひ居ります。昨年退職時、記念として、結婚以来28年目始めて新婚旅行を兼ねて全国旅行をして参り、各地の主要なお城をつぶさに見物して参りました。数百年前の建造物が美しくそして今なお立派な姿で我々日本人の心にあるやすらぎを与えてくれる偉大さに、家内ともども改めて驚ろきを感じたのでした。現今余りにもインスタント的な建造物の多い中で何と立派なそして造った人の心のしみじみとあふれて居る事よと感心致しました。此の真実を先人に学び、永久に恥じる事のない工事をやって行きたいと決意した次第であります。

★地区協議会 御承知の通り地区協議会は来る6月24日（土）25日（日）の両日、苫小牧市で開催されます。ホストの苫小牧R.C.では総力を結集して準備に取り組んでおられます。第一日は会長、幹事の会合で次期会長、幹事は本協議会出席が必須条件とされています。第二日は会長、幹事の外次の委員長が出席義務者となっております。

クラブ奉仕・社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・職業分類・ロータリー財団・会報編集者（ガバナー月信第9信より）

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
47. 2. 16	49名	35名	14名		
47. 2. 9	49名	40名	9名	8名	97.96%
在函クラブ	(2/3) 函館R.C. 90.24%	(2/8) 函館東R.C. 97.59%	(2/4) 函館五稜郭R.C. 100%		

次回例会日 3月1日
プログラム「総 会」

(柴田会報委員長)

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

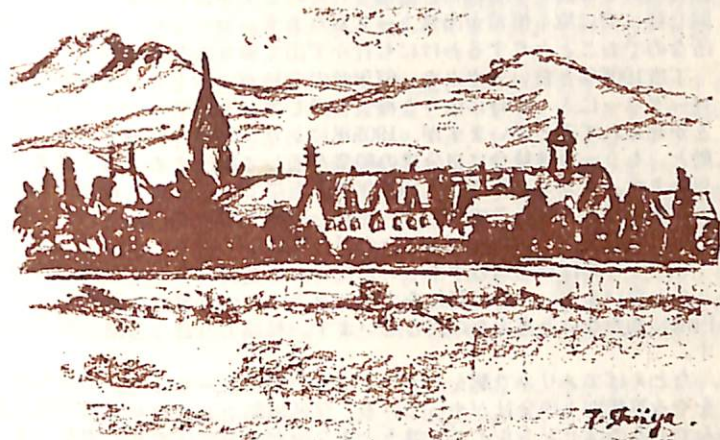
事務所 函館市若松町15-7拓銀ビル9階
ロータリー合同事務所
例会場 函館市若松町拓銀ビル7階
五島軒駅前支店
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30



1972. 3. 1

第388回例会

1971~1972 第33号



トラピスチスの丘

椎谷龍彦会員

Goodwill begins with you 善意は先ずあなたから (ブライツホルツR.I. 会長指針)

本日のプログラム

「総 会」

第387回例会記録

- ◎司 会 船矢 健喜智会長
- ◎ゲ ス ト 小畑 信愛氏 (バスターガバナー 函館R.C.)
- ◎ピ ジ タ ー 北見西R.C. 中川 孝一君 石油販売業
森 R.C. 阿部恵三男君
- 函 館R.C. 小畑 信愛君 他17名
- 函館東R.C. 飯田 真一君 他 7名
- 函館五R.C. 佐藤 博君 他 1名

◎会長報告 本日をもって退会する福田会員から手紙が来ております。記念品に対するお礼と又、お子様が病気をされたがよくなったとのこと。又、札幌東R.C.に新属する予定だとのこと。

●幹事報告 先日の例会でお知らせした、1972年国際ロータリー第63回年次大会における審議事項の解答用紙ですが、充分審議事項を検討されたことと思いますので解答用紙〇×が出来ましたら幹事のもと迄御提出下さい。若し本日お忘れの方は出来るだけ早い機会に御提出願います。

次に本日例会終了後理事会があります。理事の方はお残り願います。

●ニコニコボックス

1、佐々木会員から永い間、当クラブに出席出来なかつたお詫びとして。

●卓話 「ロータリー創立記念日について」パストガバナー函館R.C.小畑信愛氏記念日なのでお話をされる様にと依頼されたのですが、ロータリーでは依頼されると命令と同じ様に受け取る慣習が出来上っております。ロータリーの1つの特徴と云うか、良い所なのでおことわりするわけにも行かず出て参りました。

丁度1905年と言いますから、67年前の今日がロータリーの結成の日になります。一応ロータリーに入った時に色々な機会を通してどうしてロータリーが作られたかと言うことが知られてると思いますが、1905年にシカゴの若い弁護士が、この様な協力と言う運動と、もう一つは社会に自分達の職業を通して奉仕すると言う必要と感ぜられたのだと思います。シカゴと言うと、1923年頃は石炭でいぶされた真黒な街だったのですが、これが悪の巣であったのです。それで若い弁護士ポールハリスをして何かシカゴをよりよい街にすると言う気持ちがおきたのだと思います。又、もう一つお互いの仕事を援け合うのでなければ成功はむずかしいと言う民主主義のルールのもとに育った人の考えたことだと思います。ここに奉仕をすると言うことの重要性を認めて、又協力が無いと物が円滑に動かないと考えたのだと思います。私協力と言う言葉を聞くといつも思い出します。

たとえばアメリカで車をたずねますと車を走らせる方、切符を売る所、色々な荷物をやる等皆別々の会社がやっている。交通機関でさえ色々な物があります。今頭に浮かんでくるのはセントルイスと言う大きな街が中央分にあります、その街がブラッドホームだけで約50あります。したがって両側に車が入ると100近い列車が入ることになります、そのブラッドホームをおのおの違った会社がいづつかずのブラッドホームをもってやっている。そして荷物にしる、汽車にしる一つの中心があつて動かしている姿を見て、これこそ協力だなあ、協力なくしては一つも動けなくなると言うこと。

協力と言う言葉をつかうといつもこれを思い出します。ロータリーも協力と言う民主主義の土台の上に、キリスト教の土台の上に、己の如く汝の隣を愛すべし、と言う言葉、愛するより与うは幸なり、と言う言葉がありますが、たとえば経済原則にしましても give and take、と言う原則があります。もともとこの考え方がこう言う所にロータリーがおこつて来たのであります。

それからロータリーはやっぱり出席することに意義があります。オリンピックは参加することに意義があると言われますが、ロータリーは出席することに意義があります。これは皮肉で言う訳ではないが、ロータリアンは考えなければならぬと思います。

60%ルールと言うのがありますが、これを利用するのが上手です。メーキャップにクラブに出ましても、60%ルールで1時5分を過ぎると退席するのですが、これはやむを得ない時のルールですので、ロータリーのマニュアルをよく御存知と思いますが、非常に日本人的な物の考え方があり、法律でその様なことが決まると上手に使いますが、我々は一週のうち1時間はロータリーにとっておくべきだと思ふ。皆さんと一緒にその時間を話し、又聞き、色々なことを学びとることが出来れば1時間は決して長い時間でないと思います。又よく聞きますが、ロータリーに出ようと思つたらお客が来たのでついつい欠席したと言う話を聞きますが、こう言う時にはお客さまをビジターとしてロータリーにおつれすればよいので、その間にお話も出来るし、又お客様にロータリーと言うものを理解していただくと言う様に利用していただきたいと思ふ。

又、ロータリーは徽章がロータリーですから廻ります。これは1年周期で廻つてますが一年では短かすぎると言うことで2年委員、3年委員と言うのがあとからでて参りますが、いずれにしても出席すると言うことで他の方々にサービスすることが出来ると言うことになります。

又、欧州では合理的と言うことがよく言われますが、私は非合理的と言うことを言います。やはり東洋人はそう言う面ですぐれたものをもつてると思ふ。英国の詩人のケプニングと言う人は「東は東、西は西、そして決して相会うことはない」と言う詩を作つてますが、今は距離が時間によって少なくされてる時代ですので東と西が相会うことがないと言うことはなくなつてます。ニクソン大統領の中国訪問などもその様な例のあらわれと思ふ。まあ、選挙の目当てとか色々言われてますが、それにしても驚くべきチャンスを作つたものだと思います。

所でロータリーには今迄も申しました様に、手続き要覧と言うのがありますが、それと我々の先輩の宮脇さんが作られたロータリー問答が出ております。ロータリーの細いことが色々書いてあります。それと各委員会がありますが、それに関するパンフレット、リーフレットが色々あります。クラブで或は持合せの方もあつて思ふ。又今申し上げた本の他にロータリーに通暁する法と言う本もあります。又ロータリーは偶数年に即ち2年に1度規則を大会によって改めますが、改めた度にキチンと印刷物が出来て、皆様のお求めに必ずる様になってます。又、ここにありますのは「ロータリーの通解」と言う本があります。又、ロータリーのカタカナと言うものもあります。この様なものを読むとロータリーは何をなすべきかと言うことがおわかりになります。ですから各委員の方々がこの委員会で何をなすべきかと言うことはこの様なものをお読みになるとよからうと思ふ。

それから一つのクラブが、この街、函館では4つのクラブがあり、今5つにしようかと言つてますが、これが北海道では第350地区、第351地区と分けてあります。只、R.I. B.I.と言ひまして、英国のクラブがまとまったものがR.I.・B.I.と言うものがありまして、これは英国人の気質から見てもわかりますが、かつてはR.I.・B.I.と言つて1つの独立したクラブとして活動してましたが、この様な独立した英国の組織としては無くなりまして、只歴史的にその様なものがあつたと言うことにとどまりまして、他のクラブと変つた所はありません。只色々なプログラムは国々によって変つた所があります。ヨーロッパでは夜クラブをやつてる所もありますし、又、ヨーロッパはどうしてアルコールを必要としますが、これは水が良いものがない為ですが、御存知の様にロータリーはアルコールは使わないことになってますが、入口にアルコールを置いてこれを飲んで会場に入ってロータリーの例会に出ると言う型にだんだん直して来ています。いちばんキチンと守つてるのは日本のクラブです。この様にロータリーと言うものは絶えず変つていくことは事実ですが、これらのことが一つ一つパンフレットになってますので読むのは全部を読むのは大変なことなので、宮脇さんのロータリー問答の様なものを読まれるとよいと思ふ。その目的はどうやって自分達の街にサービスをするかと言うことで、大きく言うと国際奉仕をすると言うことになります。そう言う意味でも私達は役に立っていると言うことです。

★診察室 深瀬 鴻一郎 会員

ドイツ語で診察室はSprechzimmer、診療時間をSprechstundeと云うけれど、今のArztはクランケとのSprechenが大部少なくなつて来たようだ。

コトバ数(カズ)が少なくなった代り、数字がハバをきかし、健保の点数もさること乍ら、仲良く台頭している。理化学検査やエレクトロニクスの数値は、現代医学にとって決してないがしろに出来るものではないが、さりとして、人間の価値が数字でカウント出来ない如く、病氣も数字で必ずしも割り切れるものでもなからう。数字に余りこだわり過ぎると兀の計算のみにうき身をやつして折角の人生エネルギーと時間をファイにしてし

まうようでつまらない。

*

医学のシンテーゼとアリナーゼ——ファウストでの台詞(セリフ)の如く「重箱の片隅ばかりほじくって、これですべてが分った」というような錯覚に陥ってしまうと病気には喜ばれるだろうが、クランケには決して喜ばれまい。深き味は不立文字であり、勿論数字でゲージ的に表示されるものではなからう。表示されるものは、ただ、単純で表層的なものに過ぎない。大切なことは、数字の奥に秘めるものを感得することであり、数字に使われるのではなく、数字を使うことであろう。いくら正確な地図を手に入れた所で、必ずしも目的の山頂をきわめることは出来ないだろう。深い経験、自然に対する人間の認識、そしてカウント出来ない何物かに導かれてこそ始めて山頂に立つことが出来る。過日、函館医師会で、阿部たつを先生の送別会があった。長年色々大変お世話になった先生を前に惜別の情、胸に迫るものがあり発作的にお別れのコトバが出た。

*

医学に文筆に矍鑠(かくしゃく)たる大先生は、私をして北斎を連想させるものがある——北斎の絵は若き時代より老境のものがずっと若々しく、その線の力強さ、色彩の鮮やかさは人の心を捕えてやまない。——冒頭に述べたが、医者と患者との人間関係——私はSprachzimmer の中で数字以外のもの——数字以上のものが語られることを望んでやまない。

診察室の中でクランケと詩を語り、文学を論じ絵の話しが出、ゲートなども出て来るこんなことは夢であるかも知れないが、望んでやまない所である。この意味で私は思う阿部先生は小児科の医師であるが大人の医師である。いや函館医師会のアレットである。

*

最後に私の最近感じたことであるが、どうして乳幼児は母乳でなく、ミルクで育てられるのが多いのかということ、何時か北海道の山の牧場に行った時、生れてすぐ母牛から引き離された仔牛は、母牛の乳房を知らず、喉元の皮膚にしがみつき盛んに吸いついてるのを見た。

*

人間の母親の美しい子孫を育てる聖なる乳房は自分の子供のためでなく、一体誰のためにあるのだろうか。

●出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
47. 2. 23	49名	39名	10名		
47. 2. 16	49名	35名	14名	13名	97.96%
在函クラブ	(2/10) 函館R.C. 94.31%	(2/15) 函館東R.C. 98.76%	(2/11) 函館五稜郭R.C. 100%		

次回例会日 3月8日

プログラム「新聞人から見た函館印象記」

道新函館支社長 函館R.C. 会員 建部 直文氏

(椎谷会報委員)

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

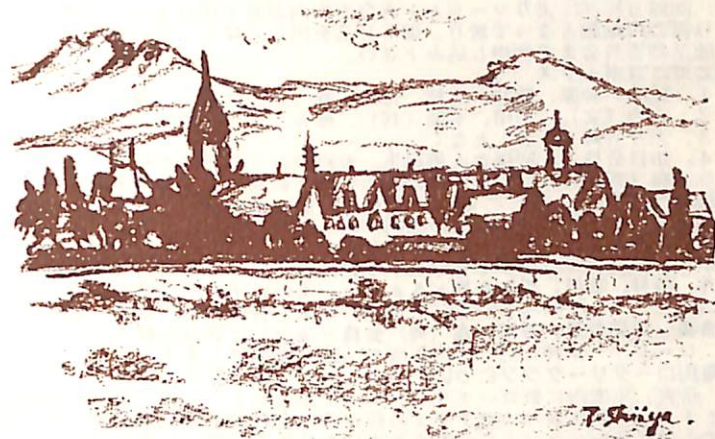
事務所 函館市若松町15-7拓銀ビル9階
ロータリー合同事務所 例会場 函館市若松町拓銀ビル7階
電話 (0138) 23-3870 五島軒駅前支店
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30



1972. 3. 8

第389回例会

1971~1972 第34号



トラビスチスの丘

椎谷龍彦会員

本日のプログラム

「新聞人から見た函館印象記」

北海道新聞函館支社長 建部 直文氏 (函館R.C.)

第388回例会記録

- 司会 船矢 健喜智会長
- ゲスト 成田 鉄蔵氏 (俣野会員ゲスト)
- ビジター 小樽南R.C. 小松 清君 (保存食品製造)
- 函館R.C. 木村 浩君 他7名
- 函館東R.C. 田中 祐治君 他9名
- 函館五R.C. 木村 和己君 他1名
- 会長報告

- 1、本日の例会は月の始めでございますので、誕生祝いの方、結婚祝いの方々の為に、ワインで幹杯致します。
- 2、本日は3月第1回目の例会ですので、クラブ細則にしたがい総会を開催します。
- 3、山本会員が東京出張の折座間R.C.にメーキャップし、バナーをいただいて参りましたので回覧致します。